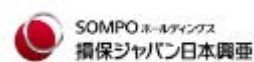
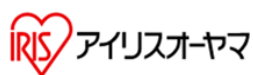


復興ビジネスコンテスト2016

受賞一覧

協賛団体



大和証券グループ



NOMURA

JR東日本

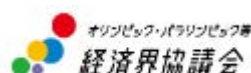
Marubeni
丸紅株式会社

MIZUHO



協力団体

大和企業投資
Daikin Corporate Investment



一般社団法人
MAKOTO

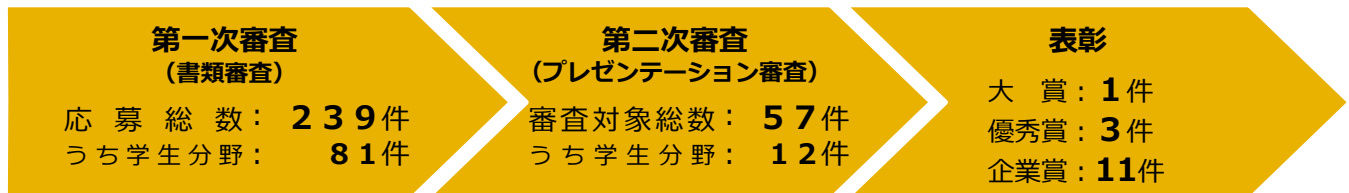
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2016

○ 概要

被災地の産業復興に向けた地域産業の創出の機運醸成を図ることを目的に、東日本大震災の被災地における地域産業の復興や地域振興に資する事業を展開している、又はこれから取り組もうとしている方を対象に募集いたしました。さらに、今年度は学生※を対象として、事業プランを募集しました。

※ 大学院、高等専門学校、専修学校、各種学校及び中等教育学校後期課程の学生・生徒を含みます。

■ 受賞者決定までの流れ



○ 審査員

- 黒澤 賢治 (特定非営利活動法人アグリネット 理事長)
- 篠崎 宏 (株式会社JTB総合研究所 執行役員 コンサルティング第1部長)
- 土肥 健夫 (株式会社事業開発推進機構 代表取締役)
- 中島 淳 (株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ 代表取締役)
- 野村 秀之 (株式会社博報堂 人材開発戦略室 シニアマネジementプランニングディレクター)
- 平野 哲行 (株式会社平野デザイン設計 代表取締役)
- 堀田 雅湖 (特定非営利活動法人こめみそしょうゆアカデミー 事務局長)
- 本田 勝之助 (本田屋本店有限会社 四代目 代表取締役)
- 山田 さとみ (一般社団法人あおもりコミュニティビジネスサポートセンター 理事)
- 政所 利子 (株式会社社玄 代表取締役)

※ このほか、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、独立行政法人科学技術振興機構JST復興促進センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構、金融機関等が審査に参加しました。

○ 学生分野審査員

- 黒澤 賢治 (特定非営利活動法人アグリネット 理事長)
- 土肥 健夫 (株式会社事業開発振興機構 代表取締役)
- 福島 路 (東北大学大学院経済学研究科 教授)

○ 受賞者特典

副賞(賞金) 協賛団体より、大賞 40 万円、優秀賞 10 万円、優秀賞(学生分野) 5 万円、企業賞 5 万円の賞金が授与されます。	「新しい東北」官民連携推進協議会におけるPR機会の提供 東北3県を中心に開催する「新しい東北」官民連携推進協議会・交流会において、ご自身の事業内容をアピールする場を用意します。	協賛団体等主催のイベント等への招待 本ビジネスコンテストの協賛団体等が主催するイベント等へ招待します。	パンフレット配布による各地関連機関等への事業内容の紹介 受賞者の事業内容を紹介するパンフレットを作成し、各地の関連機関等へ幅広く配布します。
専門家による派遣指導等 事業内容(又は計画内容)について、その分野の専門家等より派遣指導を受けられる機会を提供します。	資金調達に関する支援 事業化や事業拡大にあたり、クラウドファンディングの手法を用いて事業資金を調達する場合には、これに要する手数料等の経費を支援します。	その他 協賛企業トップとの対談機会提供やWebサイト・SNSでの紹介等を検討しています。	

※特典はやむをえず変更となる場合があります。

○ 表彰式

平成28年11月19日(土) 12:30-13:30 於 ビッグパレットふくしま 4階プレゼンテーションルーム

受賞者紹介

大賞

株式会社JDSound(宮城県仙台市)
「被災地石巻でMade In Japanのオーディオ製品を作ります」

優秀賞

株式会社及富(岩手県奥州市)
「日本の伝統工芸品をコラボレーションした商品《南部鉄器おもてなしセット》開発」

優秀賞

Cafe&Restaurant HAMAYUI(岩手県釜石市)
「復興の旗印『キッチンカー』での経験を踏まえたカフェ運営による人材育成」

優秀賞
(学生分野)

福島県立安達東高等学校(福島県二本松市) ※JR東日本賞とダブル受賞
「Bee(蜂) Ambitious! ~養蜂を利用した『第3のみつ』の商品開発～」

アイリス
オーヤマ賞

島津麴店(宮城県石巻市)
「華糎アイスクリームセットの新製品開発」

KDDI
総合研究所賞

株式会社ネッパス(福島県福島市)
「東北を日本No.1の観光立国へ『東北旅行Bot』と一緒に旅する！あなたのためだけの東北旅行プラン」

JTB賞

一般社団法人南三陸町観光協会(宮城県南三陸町)
「着地型旅行商品 予約・販売サイト みなたび」

仙台銀行じもと
復興創生応援賞

株式会社シャークス(宮城県気仙沼市)
「サメの街気仙沼を発信」

損保ジャパン
日本興亜賞

株式会社C-Tech(宮城県仙台市)
「被災地宮城から生まれた蓄光技術で目指す防災・減災社会の実現」

大和証券グループ・
フェニックス賞

マクタアメニティ株式会社(福島県福島市)
「地域農業分野でのIoT、AI活用による事業競争力の強化」

日本総合研究所
「未来アワード」

株式会社ホップジャパン(福島県福島市)
「福島産ホップを核にしたクラフトビールビジネスの展開」

野村賞

白河素形材ヴァレー(福島県白河圏域)
「素形材産業の10社の企業によるワンストップ連携チーム」

JR東日本賞

福島県立安達東高等学校(福島県二本松市) ※優秀賞とダブル受賞
「Bee(蜂) Ambitious! ~養蜂を利用した『第3のみつ』の商品開発～」

丸紅賞

福島県立西会津高等学校 西高魅力発信隊(福島県西会津町)
「西会津町と農・商・工との連携による地域活性化プロジェクト 新スイーツブランド『フーフスイーツ』」

LIXIL賞

株式会社環境システムヤマノ(福島県須賀川市)
「融雪機能付き太陽光発電システム」

大賞

団体名 株式会社JDSound(宮城県仙台市)

事業名 被災地石巻でMade In Japanのオーディオ製品を作ります

事業概要

- 東北大学出身のエンジニアが起業。高品質なポータブルDJシステム(ターンテーブル、ミキサー、内蔵スピーカー等を全て搭載)を製造・販売する事業。
- かつては製造を海外に委託していたが、新商品では石巻の企業に製造を委託し、地域産業の活性化にも貢献。

受賞のポイント

- “ポータブル”に焦点を合わせることで、大手との棲み分けができていることや、模倣されにくい高い技術力(半導体設計等も自社開発)を有し、商品企画力にも優れていることを高く評価しました。
- 前モデル(内蔵スピーカーなし)は世界で1万台を売り上げた実績を有すること、さらにクラウドファンディングで過去最高額の資金調達実績があることなど、マーケットに適合した商品となっていることから今後の発展性が大いに期待できると評価しました。

URL <http://www.jdsound.co.jp/>



優秀賞

団体名	株式会社及富(岩手県奥州市)
事業名	日本の伝統工芸品をコラボレーションした商品《南部鉄器おもてなしセット》開発
事業概要	● 南部鉄器と各地の伝統工芸のコラボレーションにより、付加価値の高い商品を地方から世界へ発信する取組。
受賞のポイント	● 伝統工芸同士のコラボレーションの例は少なく、独自性が非常に強い取組であることを評価しました。
URL	http://oitomi.jp/company/



優秀賞

団体名	Cafe&Restaurant HAMAYUI(岩手県釜石市)
事業名	復興の旗印「キッチンカー」での経験を踏まえたカフェ運営による人材育成
事業概要	● 震災直後から実施しているキッチンカーでの経験を踏まえ、カフェの運営を通じて、後の起業家を育成する事業。
受賞のポイント	● 人材育成、地域関係者を取り込み、その輪を拡大し成果をあげている点を評価しました。
URL	http://hamayui.jimdo.com/



優秀賞（学生分野）

団体名	福島県立安達東高等学校(福島県二本松市)	※JR東日本賞とダブル受賞
事業名	Bee(蜂) Ambitious！～養蜂を利用した「第3のみつ」の商品開発～	
事業概要	● ミツバチに野菜やくだもの果汁を吸わせ、はちみつを高品質化する「第3のみつ」の商品開発を行う事業。	
受賞のポイント	● 地元の農家との連携が取れている点や、特産品に成長しうる可能性があることを評価しました。	
URL	http://www.adachihigashi-h.fks.ed.jp/	



アイリスオーヤマ賞

団体名	島津麴店(宮城県石巻市)
事業名	華糒アイスクリームセットの新製品開発
事業概要	● 自社販売している宮城県産ササニシキ100%の「華糒」を使用したアイスクリームを、日本のトップパティシエ監修のもとに開発・販売する事業。
協賛企業からのコメント	● 地元産の材料を使い、有名パティシエとのコラボ商品である「華糒アイスクリーム」の開発事業は、伝統産業を基にした地域活性やモデル性、先進性に優れていると評価しました。
URL	http://www.simazu.jp/



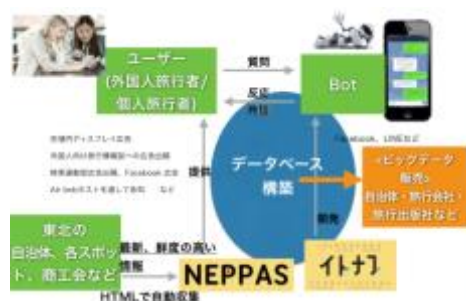
(C)三浦健司



(C)三浦健司

KDDI 総合研究所賞

団体名	株式会社ネッパス(福島県福島市)
事業名	東北を日本No.1の観光立国へ「東北旅行Bot」と一緒に旅する！ あなたのためだけの東北旅行プラン
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北に訪れる訪日観光客をターゲットに、個々人の旅行中のニーズに的確に応えるBotを開発。「IT×AI×観光」による、新しい人との繋がり、観光スタイルを創り上げる。
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北へのインバウンド観光促進を目的としたチャレンジングな案件であり、観光事業におけるICTの活用は弊社の研究領域ともマッチしている点を評価しました。
URL	http://neppas.jp/



JTB賞

団体名	一般社団法人南三陸町観光協会(宮城県南三陸町)
事業名	着地型旅行商品 予約・販売サイト みなたび
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 南三陸町の宿泊・ツアー予約サイトの構築及び運営事業。「みなたび」は「みなみさんりくのみんなに会おう旅」の略。宿泊やツアーを通じて地域の魅力に触れてもらう、ここにしかない旅を提供します。
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の観光協会が主体的にオリジナル商品を企画、造成しており、お客様の立場で、宿泊や地域の名産品、体験コンテンツなどを24時間体制で販売できる仕組みを構築している点などを評価しました。
URL	https://minatabi.good-travel.info/



観光協会で展開する強み



仙台銀行じもと復興創生応援賞

団体名	株式会社シャークス(宮城県気仙沼市)
事業名	サメの街気仙沼を発信
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 気仙沼が漁獲量日本一を誇るサメの革を用いたオリジナル商品を企画・販売する事業。
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国に誇れる地元「気仙沼」の特性を活かした事業プランであり、震災復興・地方創生に資する可能性が大きい点を評価しました。 ● 弊行も地元根ざす企業として、受賞者様の地元に対する「想い」に共感いたしました。
URL	http://sharksjapan.com/



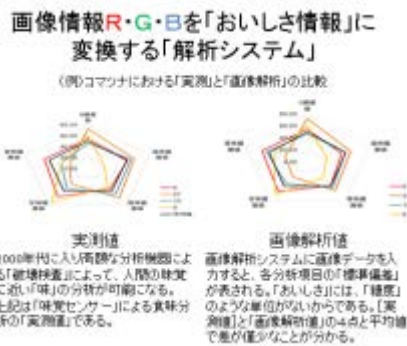
損保ジャパン日本興亜賞

団体名	株式会社C-Tech(宮城県仙台市)
事業名	被災地宮城から生まれた蓄光技術で目指す防災・減災社会の実現
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 残光輝度が強く、残光時間が長い蓄光材料を開発し、塗装により既存避難看板等を蓄光看板化する事業。
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社は、本業である保険事業を通して、防災・減災に資する商品・サービスの開発・提供に継続的に取り組んでおり、C-Tech社の防災・減災に効果的なビジネスモデルや、「被災者を少しでも少なくしたい」という想いに共感しました。
URL	http://c-tech.strikingly.com/



大和証券グループ・フェニックス賞

団体名	マクタアメニティ株式会社(福島県福島市)	
事業名	地域農業分野でのIoT、AI活用による事業競争力の強化	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 野菜等を撮影し、画像解析によって品質(おいしさ)を指標化するAIの開発。 	
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● AI技術等を活用し、消費者への食味情報提供と農作物改善情報の提供を可能とする利便性の高いシステムであると考えます。 ● 風評被害への克服に加え、農作物輸出を促進するクールジャパン戦略に資する事が期待されます。 	
URL	http://www.makuta-amenity.com/	マクタアメニティ 見える化 <input type="button" value="検索"/>



日本総合研究所「未来アワード」

団体名	株式会社ホップジャパン(福島県福島市)	
事業名	福島産ホップを核にしたクラフトビールビジネスの展開	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 国産ホップを国内ビール醸造家に販売するマーケットを創造し、そこからクラフトビール事業を展開する取組。 	
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 大手メーカーが気づいていない国産ホップへのニーズを掘り起こし、ロングテールの事業を構想した点や、ホップ販売にとどまらずパブやブルワリー等への「広がり」が期待できる点を評価しました。 ● 地域と共に福島農業を再生しようとするチャレンジ精神にも期待します。 	
URL	http://hopjapan.co.jp/	



野村賞

団体名	白河素形材ヴァレー(福島県白河圏域)
事業名	素形材産業の10社の企業によるワンストップ連携チーム
事業概要	● 白河市周辺の素形材産業10社が各社の技術を結集し、ワンストップで素材製造から熱処理・加工までを行う体制を構築する取組。
協賛企業からのコメント	● シュリンクし始めた日本経済の中で、かつてない企業ユニットを組成することで、新たな発展に挑戦している姿は、震災からの復興の未来にも通じ、かつ、他の地方経済にもモデルの一つとして提供できるものであると評価しました。
URL	http://www.shirakawa-valley.com/



JR東日本賞

団体名	福島県立安達東高等学校(福島県二本松市)	※優秀賞とダブル受賞
事業名	Bee(蜂) Ambitious! ~養蜂を利用した「第3のみつ」の商品開発~	
事業概要	● ミツバチに野菜やくだものの果汁を吸わせ、はちみつを高品質化する「第3のみつ」の商品開発を行う事業。	
協賛企業からのコメント	● 「第3のみつ」で二本松市の新しい特産品を作ろうとするプロジェクトは、地産品市場の拡大を通じて地域の魅力を発信する弊社の取組と親和性が高い。 ● 高校生の新しいチャレンジを応援したいと考え、賞の授与を決めました。	
URL	http://www.adachihigashi-h.fks.ed.jp/	



丸紅賞

団体名	福島県立西会津高等学校 西高魅力発信隊(福島県西会津町)
事業名	西会津町と農・商・工との連携による地域活性化プロジェクト 新スイーツブランド「フフフスイーツ」
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生が地元企業や生産者などと共に、特産品である車麩を用いた商品を開発及び販売する事業。
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生を中心に自由な発想で取り組み、地元特産品を使用した話題性の有る新しいスイーツで、地域全体の活性化に繋がるビジネスと期待しております。
URL	http://www.nishiaizu-h.fks.ed.jp/



LIXIL賞

団体名	株式会社環境システムヤマノ(福島県須賀川市)
事業名	融雪機能付き太陽光発電システム
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 産総研・福島大学等との共同研究で開発し、県内で生産する太陽光システムにより、雪国でも経済的損失・人的災害を無くし安全・快適な生活空間を創造し太陽光発電を行えるようにする事業。
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 北国における太陽光発電の常識を覆す技術の開発と屋根融雪の非人力化を実現した事による社会貢献度は非常に高いと考えます。
URL	http://www.k-s-y.co.jp/ (11月20日以降公開予定)

3.内容紹介 融雪機能付きPV発電システム

薄膜Si太陽電池モジュールファブリックヒーター(商品化)

- ・設計柔軟性
- ・北側屋根でも発電可能(薄膜Si太陽電池)

結晶Si太陽電池モジュール TCOヒーター(開発中)

- ・融雪太陽光発電(結晶Si太陽電池)

正電流加熱システムを持つ薄膜Si太陽電池モジュール(開発中)

- ・設計柔軟性
- ・ファブリックヒーター不使用による低費用化
- ・北側屋根用薄膜Si太陽電池(発電可能)

【全体システム】として

- ・太陽光発電と正電流加熱システムを搭載した完全融雪太陽光発電システム
- ・太陽光発電によるランニングコスト削減と二酸化炭素排出量の削減が可能
- ・結晶Si太陽電池モジュールと薄膜Si太陽電池モジュールのハイブリッドシステムで屋根全面の融雪が可能

